

活動例 1

5年生 「パートナーソングをみつけて歌おう♪」

指導案例作成：吉崎優葵・福田麟太朗

♪ ねらい

異なる旋律を組み合わせて聴き、パートナーソングをみつける活動を通して、旋律と和音との関係についての理解を深める。

響き合いを感じながら、歌うことができる。

♪ 活動時期

5年生 和音の響きやはたらきについて（教育出版「こきょうの人々」p. 14, 教育芸術社「静かにねむれ」p. 22）の学習後に行います。

♪ 流れ

活動	内容	ねらい
1. パートナーソングを知る。	別の曲や別の旋律だけど、重ねると響き合って聞こえることがあることを伝えます。「小さな世界」（作詞作曲シャーマン兄弟）の前半部分と後半部分のように、みんなが知っている曲を例にあげるとよいでしょう。このような曲をパートナーソングと呼ぶことを共通に理解しておきます。	響き合いを感じる。
2. 『パートナーソングをみつけよう！』で遊ぶ。	まず、旋律のみを聴いて、パートナーソングを探します。次に、「和音あり」にチェックを入れて確認してみましょう。 (付属のワークシートをお使いください。)	二つの曲と和音の響き合いを感じる。
3. パートナーソングの成立条件について知る。	「パートナーソングとは、同じ和音進行に支えられているため、同時に歌ったり聴いたりしても響きが合う曲」という、パートナーソングの成立条件を伝えます。	和音進行が一緒なら、旋律が違っても響き合うということを知る。
4. パートナーソングを歌ってみる	自分たちでも歌ってみたいな、という気持ちになれば、みんなで歌ってみましょう。客観的に聴くことができるよう、歌うグループ、聴くグループに分かれて歌ってみるとよいでしょう。	響き合いを感じながら歌うことの楽しさを感じる。